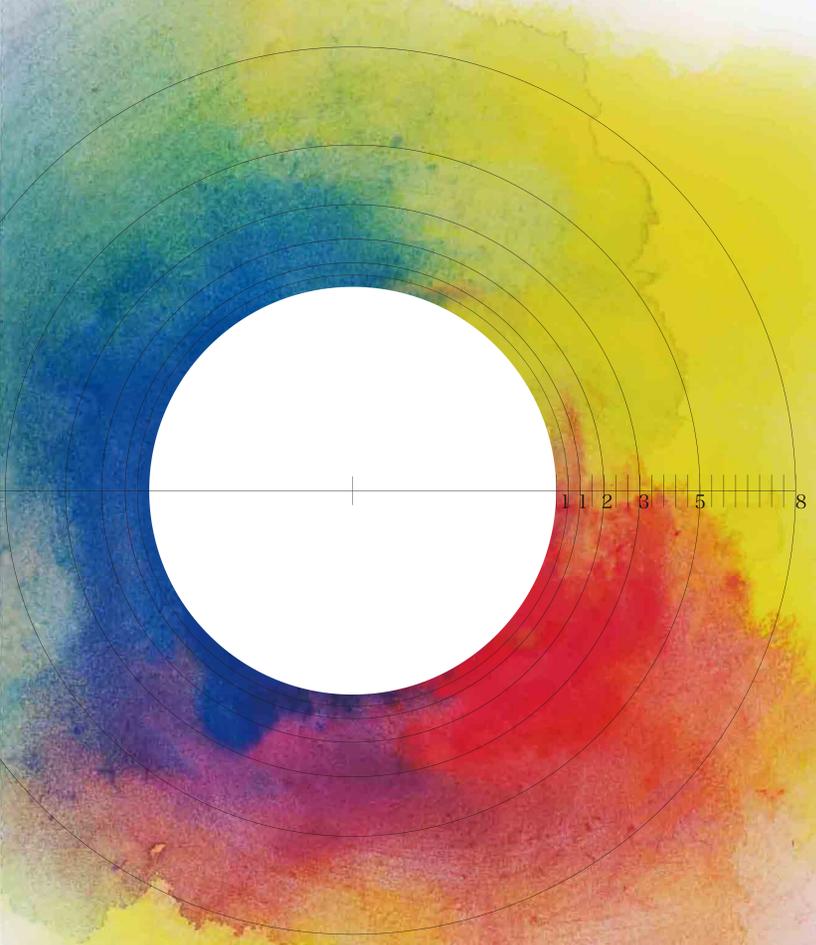




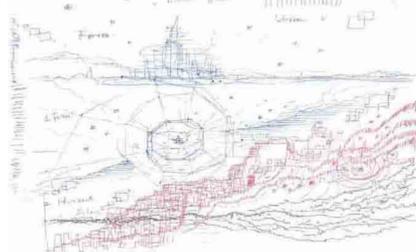
光彩の響く庭

譜面と湖面、楽曲を建築表現する試み

5109039 菅谷由香子



First Image Sketch



concept

設計表現という幾つかの課題の中で、今まで私は、時間や人の流れと広がり、そして他者と交わる時間空間設定をコンセプトにしてきたように思う。もしかするとそこに自分の音楽体験を表現しようとしてきたのではないだろうか。

卒業制作のテーマを考えるあたり、この気付きは無視できないほど大きくなっていった。

音が溢れている現代において、却って音環境が乏しくなっていることを、前期の課題作成のときに実感し、痛みを感じた。

では、自然のささやかな音、メッセージを受け取る経験の乏しさを補うのに、ただ音を聞く環境を用意するだけで十分だろうか。そんな疑問を持った。

筋肉を鍛えるように、精神を鍛えるように、かすかな音やメッセージを聴く耳、心の聴力を鍛えることが必要ではないだろうか。

そこで小さくても大事な声を聞くことができる耳を育てる、そんな音の学び舎、場所を提案しようと思った。

ドビュッシーの音楽は、自然の情景を想起させるものが多い、彼の音楽からインスパイアされたものを建築表現の主題とし、小さな湖を取り囲む静寂の場所を、自然と音楽と自分とが出逢える空間にしたい。そのように考えて設計したが、この光彩の響く庭である。

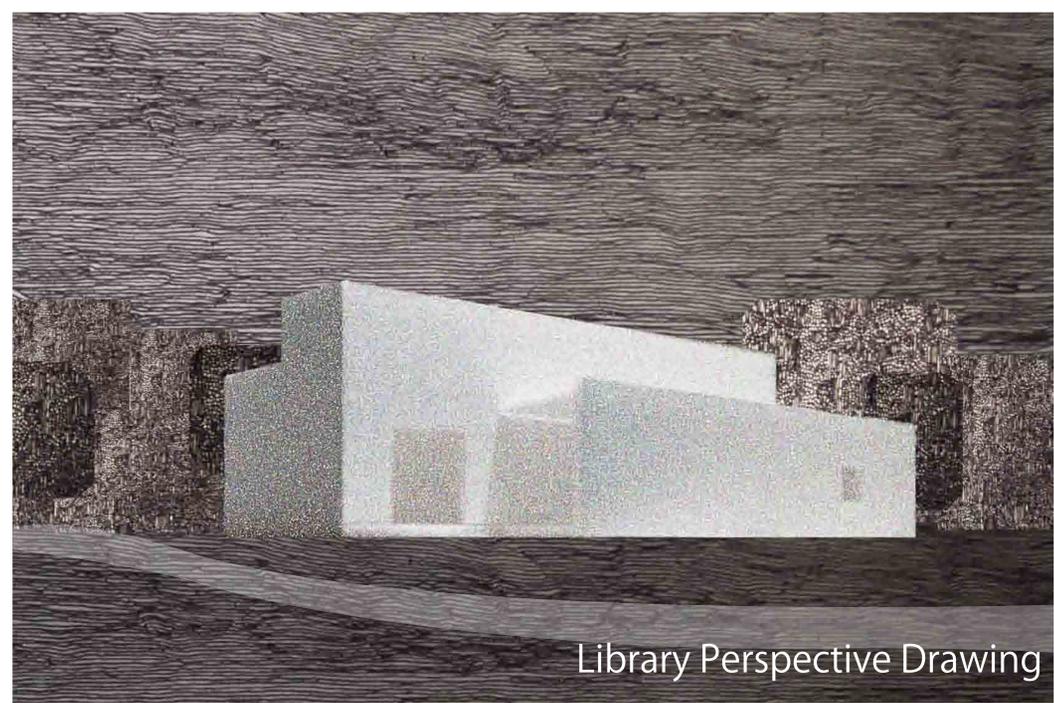
計画概要

所在地：雪室湖周園〒389-0206 長野県北佐久郡御代田大字御代田大森
敷地面積 およそ 34788 m² (雪室湖の面積およそ 9500 m²)

施設概要
御代田町の雪室湖を囲んだ音楽と自然を主題にした施設を計画する。ファミリーグループ 団地で利用できる御代田線、スタジアム・ホールがあり、音楽をメインとした日帰り練習や合宿所としても機能することを目的とする。

全体構成
studio1
open-air stage
studio2-6 and Gallery, Plaza
Sessoko cafe and restaurant, reception
Creation Hall
Library
Sesso hall
Atelier
Seven hall
Accommodation Area

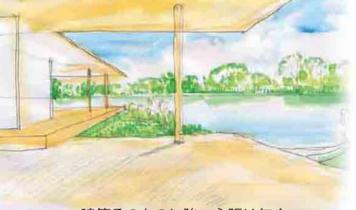
各棟詳細
■studio1 (15.2×6.4m)、定員 40 人、半地下にあるスタジオ
開口を多くとった開放的なスタジオで、森の木々や湖や山々を見ながら演奏することができる。
■open-air stage (定員約 150 人) 大階段は野外音楽堂の客席になる木々の縁に囲まれた野外席。湧き水の風り、風のやさしさを肌に感じるながら、三々五々集まって、水とステージでの演奏を始める事ができる。
■studio2-6 and Gallery, Plaza
□studio2 (10.5×6.0m)、定員 40 人
□studio3 (6.3×6.9m)、定員 15 人
□studio4 (6.6×9.3m)、定員 25 人
□studio5 (7.2×13.8m)、定員 30 人
□studio6 (8.4×13.2m)、定員 30 人
地上から地下道に続く建物群の中に、5 タイプの音楽スタジオと録音機器がある調整室がある。
音楽ワークショップを行ったり、クラブやサークル活動等のハイスクールや発表会場として利用できる会議室や、研修室としても利用できる地下には、ギャラリーがあり、地域の人や若いアーティスト等の展示スペースとして利用できる地上の広場には毎年開催の雪室公園で行われる彫刻コンテストの展示場として彫刻が飾られている。
■Sessoko cafe and restaurant, reception
定員 150 人
氷上テニスコート 2 階席で食事を楽しむ事ができる。
■Creation Hall
コンサート、会場、演劇、講演会などに利用できる多目的ホール (13.0m×13.0m) ●定員 180 人 (可動式座席)
■Library (8.5×15.8m) 情報フォーラム設備・書籍 (音楽、美術等)、閲覧スペースや視聴覚スペースなどを設けている。
■Sesso hall (8.0×13.0m) 湖に突き出た、湖の上で泳いでいるようなホールは、ぬる水や湧き水を見ながら演奏することができる。
■Atelier (6.3×6.9m) 音楽家等が利用できるアトリエ。自然の中で絵を描いたり、演奏したり、作曲したり好きなだけ好きな事に没頭できる。
■Seven hall (15.2×7.6m) 定員 60 人、グランドピアノ完備。スタジオとしてはもちろん、小さなコンサートや宿泊者の集客場としても利用できる。
■Accommodation Area
□20 室、定員 80 人 (最大 120 人)
□温泉、露天風呂、レクリエーションエリア
宿舎エリアはファミリーグループ 団地で利用できる。2 人用のロッジから、4 人用のロッジ、ロフトを使えば 6 人まで一つのロッジに泊まる事ができる。すべての部屋にはデッキが付いており、森の木々などの自然を間近に感じることができる中央には温泉があり、露天風呂からは雪室湖や森の木々、雪室湖を鑑賞することができる。



Library Perspective Drawing



建築は質素で、気持ちは周りの大自然に引き寄せられていく



建築そのものに強い主張は無く、大自然との同化が主題になっている

ドビュッシーの音楽

ドビュッシーは音楽の方向性について聞かれたときに、「作曲の秘密なんて誰が知ろう? 海のざわめき、水平線のカーブ、葉叢を吹き抜ける風、鳥の鳴き声が私たちにさまざまな印象を残す。そして、突然、こちらがまったく同意などしていないのに、これらの思い出のひとつが外へと広がり、音楽表現となっていく。思い出はそれ自体に旋律を宿している。…」と答えている。

ドビュッシーの楽曲には、自然を主題にしたものが数多くある。それと同時に美術作品のイメージからも多大な影響を受けている。

北斎の富嶽百景をモチーフに作曲した事は有名だが、実際にルノワール、モネ、ドニタチと交友関係を持ち、彼らの作品に大いに関心を寄せていたという。(ドビュッシー展 図録より)

そんなドビュッシーの曲を主題にして建築という空間構成を考えた。

曲は小学校 4 年の時に弾いたプレリュードにした。当時、虹色の光を感じながら弾いていたことを思い出した。ドビュッシーの楽曲から、インスパイアされたものを、設計上のコンセプトとした。

長調と短調の合わせた分散音のイメージ。これは限定されないというイメージにつながる。年齢層も施設の目的も特定しない、利用する人に選択の自由が与えられている場でありたかった。

他の芸術分野からも積極的に知識や感覚、手法を取り入れた曲作りは、この施設が、新しい試みを助ける場を提供することを想起させた。主旋律 (テーマ) が突出せず、メロディーラインが思わぬところに潜んでいることから、自立たないところに、尊い意味が込められていること、その興実にあつく密かな発見を内包した空間イメージにつながった。同時に、個々の建物が主張しすぎないことの示唆でもあった。

限られた和音だけでアラベスクを作曲したように、それぞれシンプルさを旨とした。

音楽と建築、光と彩り

場所の設定にあたっては、欠かせない条件があった。光と水である。海も川も水ではあるが、ドビュッシーのプレリュードは、光とともに静寂の空間を生む場がふさわしいと感じた。カッコーの声だけが聞こえるような自然を見つめている水のある場所である。深く静かな湖の湖面に作られるさざなみと、それに反射して輝く木漏れ日。それらどれもが重要であった。

また形而上的なダイナミックさはなくても、形而下に広がる世界の豊かさを表現したいと願った。一つの建物ではなく、一つの場所、空間を設定し表現したのは、建物を取り囲む自然 (特に光と色彩) と空間をも含めて表現体としたかった。根源的には自然が主題のような建築を建てたかったとも言える。

私にとって「耳をすます」ことと、新しいことを「発想する」ことは、同義である。(「すべては音楽から生まれる」茂木健一郎著より)

散歩する中で水や風や光を感じることは、音楽の演奏を聞くに等しく、音楽で感じる心地よさや穏やかさやあたたかさというのは、まさに自然の中での体験なのだ気付くだろう。自分という媒体を通して 様々な体験と音楽が触れ合うとき、思いもかけない物語が生まれ貴重な時間が生まれる。それは普段聞き取れない密やかなメッセージを受け取る時間でもある。その過程を私は伝えたいと表現したいと願ったのである。

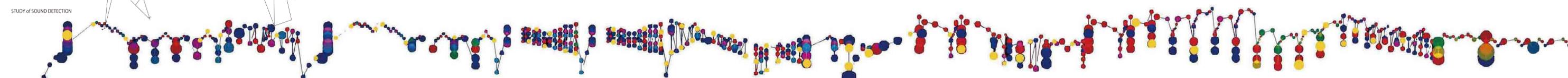
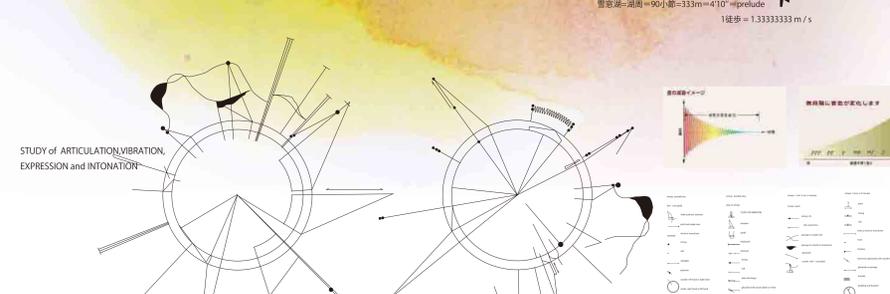


静かでおおらかな水面が空間を特色付けるモチーフとなる



しなの鉄道、御代田駅の南東にある雪室公園の外れ、道路をまたいだところに雪室湖という小さな湖があります。別荘地が広がる森の一角にたたずんでいます。雪室湖は別荘地の中にある人造湖です。もともと農用水の溜め池として造られた湖です。雪室公園は散策やジョギングを楽しむ人々、すべり台で歓声を上げる子どもたち、スポーツを楽しむ若者たちなど、地域や世代を越えた交流の場として、また、心安らぐ憩いの場として、利用されています。また、毎年芸術家が公園内に彫刻を展示したりするなど芸術で街を盛り上げようと励んでいるところでもあります。そんな街にある雪室湖をかくも不思議な形の地形に音楽と自然が共存する建物を計画しました。

STUDY OF COLOUR スコアは時計回りで読まれ、0 度からスタートし、1 小節ごとにおよそ 4 度まわり、1 曲 (9 0 小節) で 1 周 (3 6 0 度) する。これはこの曲を、充実した、生命感に溢れたものとして把握するための譜面である。





自然のなかで出会い語り
ともに行動する

自然に立ち向かうことなく、静かにひたすら控えめに佇む
山奥の湖畔の緑に
埋もれたかのようなかたち



物理的なつながりだけでなく、
精神的なつながりをうむ

水と風、
自然環境のようにやわらかく包み込む



Sesso hall



天井の低いところ、高いところ、
床も上がったり下がったり、
巾も広かったり狭かったり、
オープンであったり閉じていたり、
それらを横に曲がったり...



天井の高さにも
床の高さにも変化が生まれ、
様々な場があちこちに生まれる。

ゆるやかに区切りつつ繋がる



西陽を浴びたステージ

大階段は野外音楽堂の客席でもある

音の波に潜むたくさんの感情たち



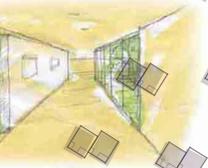
時が流るうちに、それでも生まれてくる
音を聴くように、皆それぞれが聴き、味わう。



庭に対して自然に導かれる
近づくにつれて視線が多様に変化していく



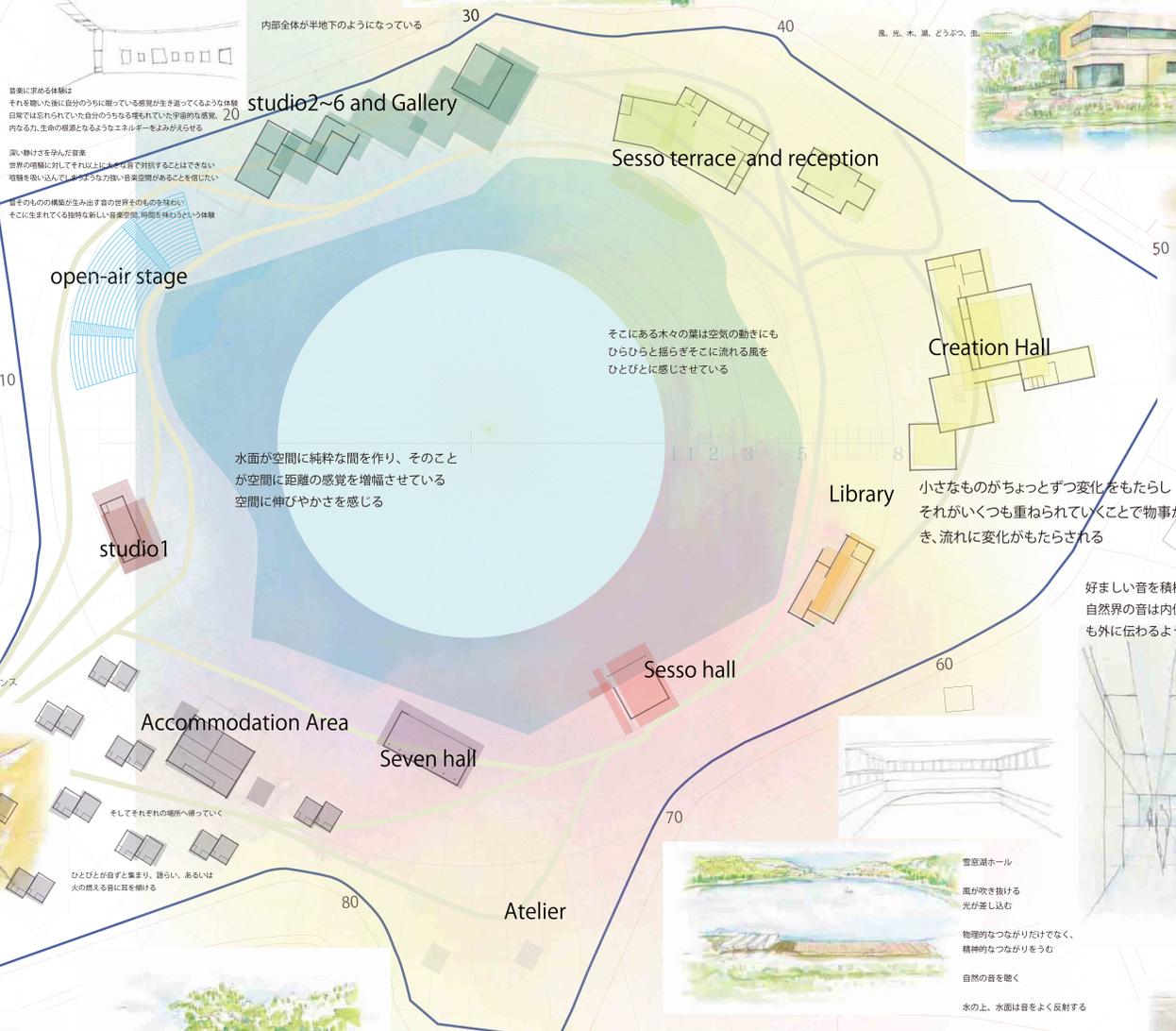
目の光の具合で輝きに変わります
光はひとつひとつの視線を集め、照らされている対象物へと視線を誘導し、
ひとつひとつは周囲の光れを感じます



そしてそれぞれの場所へ向かっていく
ひとつひとつが自ずと集まり、語り、あるいは
火の燃える音に耳を傾ける



新しい出会い、発見、創造の体験への
期待感を掻き立てながら
精神的な準備の始まりを予感している



studio2~6 and Gallery

Sesso terrace and reception

Creation Hall

Library

Sesso hall

Seven hall

Atelier

Accommodation Area

studio1

open-air stage

水面が空間に純粋な間を作り、そのこと
が空間に距離の感覚を増幅させている
空間に伸びやかさを感じる

そこにある木々の葉は空気の流れにも
ひらりと揺らぎそこに流れる風を
ひとつひとつに感じさせている

音楽に寄る体験は
それを聴いた後に自分のうちに残っている感覚が生きてくるような体験
日常では忘れられていた自分のうちなる理ももていた宇宙的な感覚、
内なる力、生命の根源となるようなエネルギーをよみがえらせる

深い静けさの中に自然
世界の喧騒に於いてそれ以上より高層で対峙することはできない
喧騒を払い込んでいこうとする力強い音楽空間があることを感じたい
そこに生まれてくる独特な新しい音楽空間、時間を味わうという体験

内部全体が半地下のようにになっている



風が乾をならすのを待つ



屋上がランドスケープのようにになっている



豊かな自然がむかえてくれる



風による水面のさざ波が
見えない気流や
風を感じさせる



環境と応答するように高さを抑え
新たな風景をつくりだす



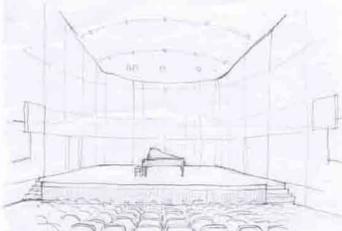
自然の地形を利用しており空間そのものが外部の自然環境へ開かれている



リズムのあるものは身体が受け入れやす
く人を心地よくさせる



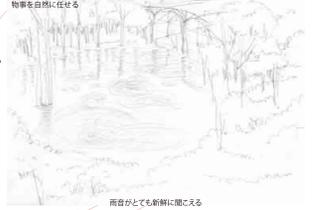
ふと見上げると御代田の空が広がっている



好ましい音を積極的に取り組み
自然界の音は内側へ、内の雰囲気か少しで
も外に伝わるように



都会の喧騒と緊張からはなれここで身体を休め、精神的な補給をする
光を落とすトップライト

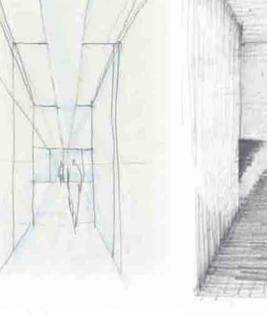


物事も自然に任せる

両手がとても新鮮に感じてる



雪室湖ホール
風が吹き抜ける
光が差し込む
物理的なつながりだけでなく、
精神的なつながりをうむ
自然の音を聴く
水の上、水面は音をよく反射する



好きなことに好きなだけ没頭する

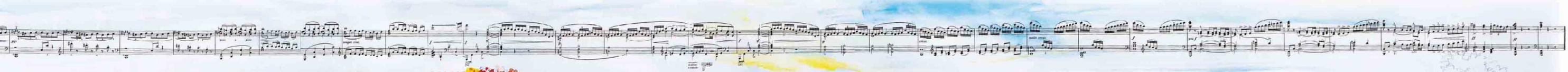


一人になれる場所、一人のための場所



季節や感じの自然環境、
その日の気候や時間によってそこに残れる音は変わってくる





Sesso terrace and reception

風が空をわたるのを感じ
風が空をわたるのを感じ

豊かな自然がもたえてくれる
豊かな自然がもたえてくれる

風による水面のさざ波が見えない気流や風を感じさせる
風による水面のさざ波が見えない気流や風を感じさせる

環境と呼応するように高さを抑え新たな風景をつくりだす
環境と呼応するように高さを抑え新たな風景をつくりだす

風、光、水、森、どうぶつ、虫
風、光、水、森、どうぶつ、虫

そこにある木々の葉は空気の動きにもひらりと揺らぎそこに流れる風をひとびとに感じさせている
そこにある木々の葉は空気の動きにもひらりと揺らぎそこに流れる風をひとびとに感じさせている

Creation Hall

リズムのあるものは身体が受け入れやすく人を心地よくさせる
リズムのあるものは身体が受け入れやすく人を心地よくさせる

自然の地形を利用しており空間そのものが外部の自然環境へ開かれている
自然の地形を利用しており空間そのものが外部の自然環境へ開かれている

ふと見上げると替代田の空が広がっている
ふと見上げると替代田の空が広がっている

好ましい音を積極的に取り組み自然の音は内側へ、内の雰囲気か少しでも外に伝わるように
好ましい音を積極的に取り組み自然の音は内側へ、内の雰囲気か少しでも外に伝わるように

広い窓から地平線に落ちている太陽の光や空の色の変化も感じられる
広い窓から地平線に落ちている太陽の光や空の色の変化も感じられる

物事を自然に任せる
物事を自然に任せる

都会の喧騒と緊張から離れここで身体を休め、精神を静める
都会の喧騒と緊張から離れここで身体を休め、精神を静める

光を落とすトップライト
光を落とすトップライト

雨音がとても新鮮に聞こえる
雨音がとても新鮮に聞こえる

季節や周りの自然環境、その日の天気や時間によってそこに現れる音は変わってくる
季節や周りの自然環境、その日の天気や時間によってそこに現れる音は変わってくる

好きなことに好きなだけ没頭する
好きなことに好きなだけ没頭する

Library

小さなものがちよつとずつ変化をもたらしそれがいくつも重ねられていくことで物事が動き、流れに変化がもたらされる
小さなものがちよつとずつ変化をもたらしそれがいくつも重ねられていくことで物事が動き、流れに変化がもたらされる

雪窓湖ホール
風が吹き抜ける光が差し込む
物理的なつながりだけでなく、精神的なつながりをうむ
自然の音を聴く
水の上、水面は音をよく反射する

Sesso hall

一人になれる場所、一人のための場所
一人になれる場所、一人のための場所

studio1

1.studio
2.toilet

open-air stage

1.outside seating
2.stage

studio2-6 and Gallery

1.storage
2.studio2
3.studio3
4.studio4
5.studio5
6.studio6
7.gallery
8.reception area
9.studio6

Sesso terrace and reception

1.restaurant
2.cafe
3.deck
4.toilet
5.kitchen
6.lan room
7.party
8.recycling store
9.reception
10.reception
11.office room
12.storage

Creation Hall

1.entrance
2.foyer
3.storage
4.toilet
5.bar/loak
6.back stage
7.creation hall

Accommodation Area

1.lodge
2.laboratory
3.toilet
4.recreation room
5.hot spring(bath room)
6.open-air bath

Seven hall

1.hall
2.corridor

Library

1.library
2.reading room
3.meditation room
4.audio-visual room
5.toilet

Sesso hall

1.hall
2.deck

Plan

1.bed
2.double-decker
3.toilet
4.bed
5.deck
6.toilet

Section

Section 1

Section 2

Section 3

1/200 plan and section

